

進路だより

H27 7月発行 第1号

今年度第1号の進路だよりです。今回の進路だよりは、26年度卒業生の進路先とその様子、保護者進路ガイダンスについて報告させていただきます。

進路指導部では、本人と保護者の皆様と学校が、各関係機関と連携しながら、実習等を通して進路決定の方向性を探り、進路を決定していく支援をしています。

進路の情報などを進路便りでお伝えしていきますので、感想や知りたいことがありましたら進路指導部までお知らせください。



高等部3年生 現場実習の様子
(エコ工房)

平成26年度卒業生の進路先

(4月現在)

福祉事業所	生活介護	わかば園作業所(1) なぎの木園(2)
	自立訓練	第2なぎの木園「ステップ」(5)
	就労継続支援B型	エコ工房四季(3) わかば第2作業所(1)
一般事業所		老人介護事業所ケアハウスはまゆう園(1)
教育訓練機関		和歌山産業技術専門学院・総合実務課(1)
		計14名 (人数)

卒業生の様子



エコ工房四季には3名の卒業生が通っています。HさんやKさんは古着の整理整頓や古紙分別など、Mさんはトラックに乗って廃品回収に出かけることが好きな作業だそうです。3名ともすっかり新しい環境に慣れて、他の利用者の方とも打ち解けて、過ごしています。



H さんです。勤務先はケアハウスはまゆう園です。今、頑張っていることは、清掃、利用者さんとの交流だそうです。7月からは、老人介護にも取り組んでいくことになりそうです。休日は友人と買い物に行ったりして、楽しんでいます。



第2なぎの木園の自立訓練事業（ステップ）には5名の卒業生が通っています。6月にアンカフェを開き、バックヤード係とレジ係を担当し、100人近いお客さんが来店し、大盛況でした。Oさんは日々、係の仕事をして、脳トレを頑張っています。ステップの仲間の「地元巡り」ということで、Hくんの地元、那智勝浦町に行ってきました。



YさんとHさんです。なぎの木園（生活介護）に通っています。時々、職員さんにいたずらをするほど和気あいあいと過ごしています。

保護者進路ガイダンスが実施されました

7月7日（火）、授業参観と学級懇談の後、法制度の変更に伴う就労継続支援B型事業所利用について、保護者対象の進路ガイダンスを実施しました。新宮・東牟婁圏域：自立支援協議会事務局（相談支援事業所、障害児者支援センターゆず、障害者就業・生活サポートセンターとも）の職員の方に同席してもらいました。参加者は小学部11名、中学部8名、高等部18名の合計37名でした。例年の進路ガイダンスは20名程度の出席ですが、本年度は37名で、B型事業所利用について、それに伴うお子様の将来の進路についての関心の高さの表れかと感じております。11時50分から12時30分の短い時間ではありましたが、皆様、熱心に聴講していただきました。B型事業所利用について身近なものと感じられたようで、質問も多く出されました。40分の説明では、詳しいことについては充分ではなく、B型事業所利用についての概要だけの話になり、「何となく・・・理解できたかな？」という方も多くいたかと思えます。就労継続支援B型事業所利用についての説明等は、今後、進路便りで紹介、説明させていただきます。進路ガイダンスにご出席いただきました保護者の皆様、お忙しい中、ありがとうございました。

